

フリーランスが最も働きやすい島化計画 (第2ステージ)

「どこにいてもできる仕事、ここでしかできない暮らし。」

フリーランスとは（奄美市の定義）

奄美市では、「自らの才覚や技能を提供することにより、社会的に独立した個人事業主及び小規模事業者、副業者も含む」と定義しています。

フリーランスが最も働きやすい島化計画の理念

奄美群島成長戦略ビジョンの重点3分野のひとつ「情報（ICT）」を活用し、まち・ひと・しごと創生に資するため、フリーランス、小規模事業者を支援することにより、奄美市における仕事誘致、定住促進、子育て支援（在宅ワーク支援）及びフリーランスのビジネス性向上につなげることを基本理念とする。

フリーランスが最も働きやすい島化計画（第1ステージ）の振り返り

第1ステージ

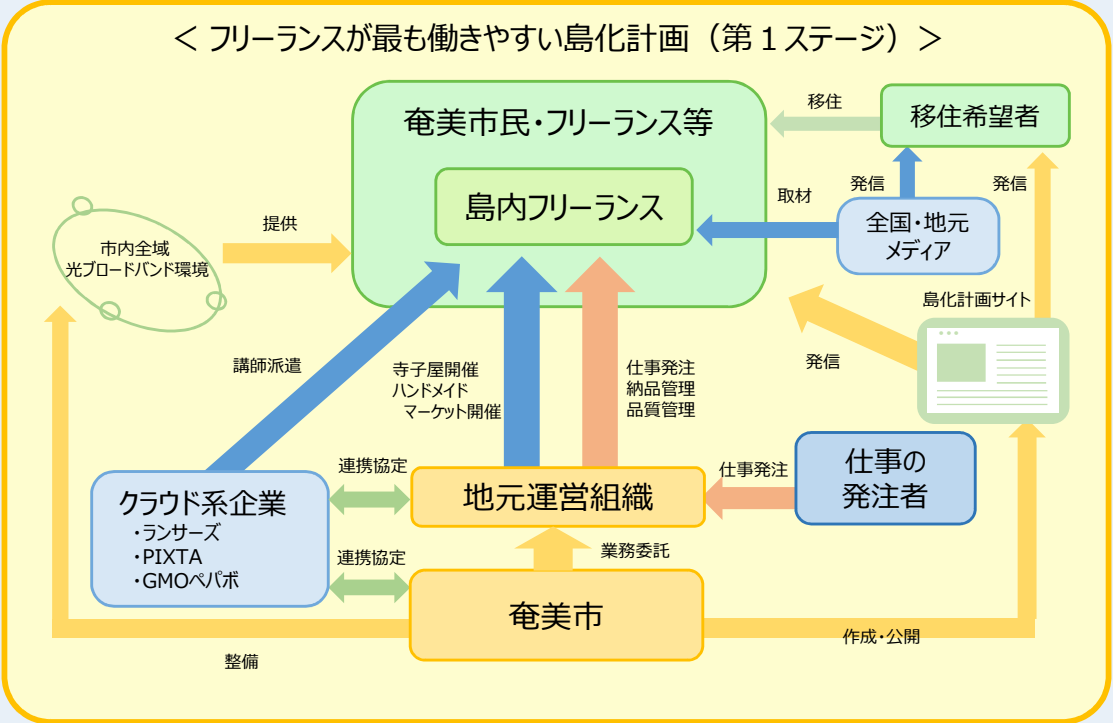
○背景（H27～R1）
産業振興、人口減抑制の政策を進める中で、大規模な産業のない外海離島である奄美市では、地域の雇用が少ないことがネックになっていた。一方で技術力をもつエンジニア、職人が少しずつUターン、Iターンしており、また、フリーランスとしてクラウドソーシングで仕事を発注する人、受注する人が増加してきていた。そこで、ICTを活用するフリーランス、小規模事業者を対象に支援を実施することとした。

- 取り組み状況
- ・「フリーランスが最も働きやすい島化計画」を策定。活動をホームページとSNSで拡散。
 - ・人材育成講座「フリーランス寺子屋」を年間開催により学びの場の提供。
（対象：WEBライター、観光フォトライター、ハンドメイド作家）
 - ・クラウド系企業との連携協定締結。（H27:ランサーズ、H28:PIXTA、GMOペパボ）
 - ・H29年度よりオンライン人材教育として100名受講無料化。（スクー協力）
 - ・光ブロードバンド市内全域整備による働きやすい環境整備。
 - ・H28年度よりハンドメイド作家の発掘・育成・活動広報等を目的に、ハンドメイドマーケット(即売会)を毎年開催（延べ動員数：2、850人）

○計画目標達成状況

奄美市のフリーランスを5年間で200名育成	育成者数：202名
奄美市にフリーランスを5年間で50名移住実現	フリーランス移住者数：38名 ※家族含む。フリーランス支援窓口を訪れた方のみ。
子育てをしながら年収150万円のフリーランス育成	ライター系：約5万円/月 ※現在は島外で活動中
年収300万円のフリーランスの育成	ライター系（カメラマン、HP作成を兼業）：260万 ハンドメイド：300万

- 振り返り（総括）
- ⇒職種・スキルを複合化（ライター＋カメラマン＋HP作成）した方や、オンライン販売を行うハンドメイド作家からモデルケースとなる、成功事例が創出された。
 - ⇒近年は働き方の多様化が進む中、フリーランスの業種の幅は拡がりを見せており、フリーランス同士がプロジェクト毎に共同体を形成し受注業務が多様化・高度化することでビジネス性が高まる見込み。
 - ⇒フリーランス予備群となる、新たな子育て世代の出現。



☆今後の課題
「モデルケースの普及」と「コミュニティ形成支援」を推進し、ビジネス性のさらなる向上が求められる。

フリーランス支援は
次のステップへ

フリーランスが最も働きやすい島化計画（第2ステージ）～「モデルケースの普及」と「コミュニティ形成支援」～

第2ステージ（R2～R6）

→「モデルケースの普及」と「コミュニティ形成支援」の推進拠点として、「WorkStyle Lab」に総合的な機能を整備し、フリーランス同士の共同体形成を支援することで、仕事の創出、仕事誘致から更にビジネス性を向上する。

○WorkStyle Labの整備

【場の整備】

- ・多様な働き方に対応するため各種スペースを整備し、フリーランス同士または企業との連携推進、マッチング、学びの機会・場の創出を目的としたWorkStyle Labの整備。
- ・ICT人材育成センターの機能をWorkStyle Labに移転することで、学びの場としての機能強化。

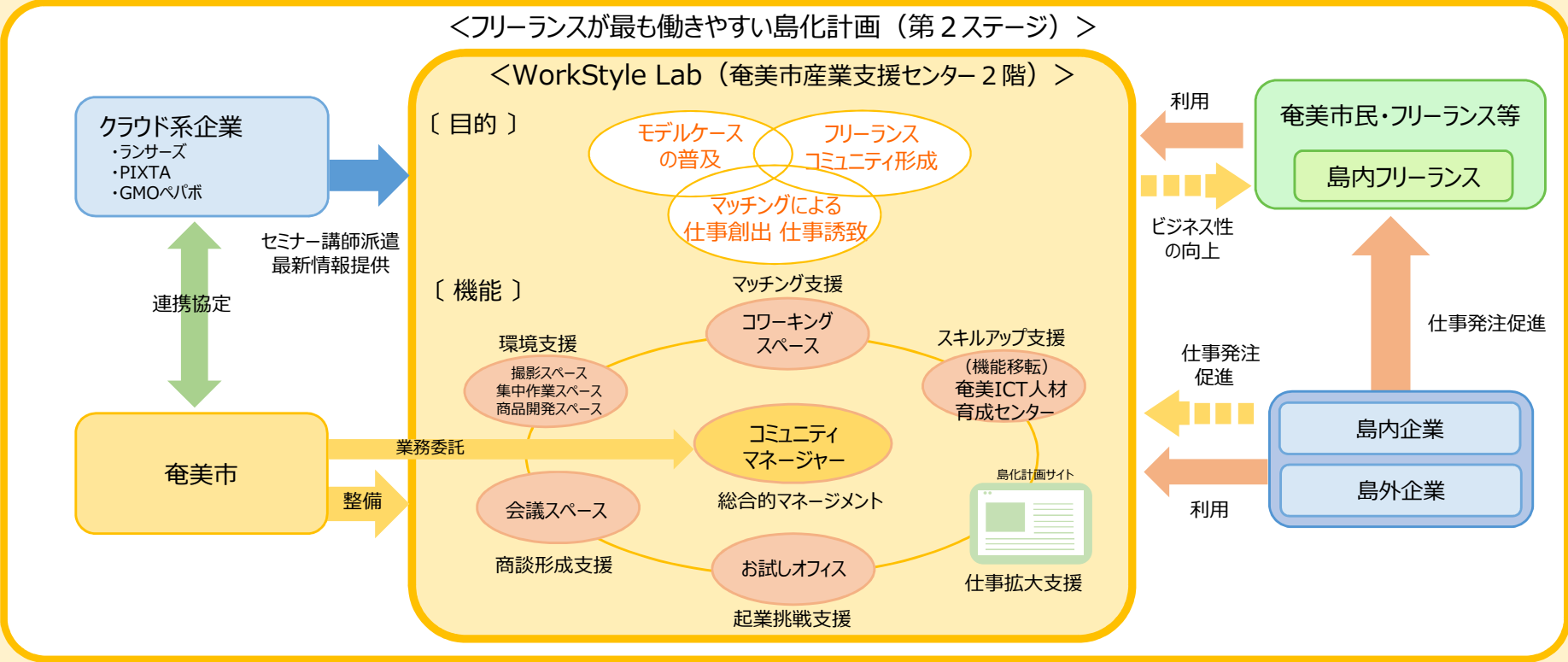
【場の総合的なマネジメント機能の提供】

- ・コミュニティマネージャーを配置し、フリーランスからの相談機能を充実するとともに、「モデルケースの普及」及び「コミュニティ形成支援」として、各種セミナーやイベントの開催、フリーランス同士のコミュニケーションの場を創出。
- ・大島紬等他産業との連携を目的とした、フリーランスと島内外企業とのワークショップの開催
- ・フリーランスでチームを結成し、奄美のハンドメイド作品を島外へ売り込むプロモーション活動の実施

○フリーランスへの継続・発展的支援

- ・都市部IT企業(クラウドソーシング、Web制作、ハンドメイド作品販売、デジタル写真販売及び新たな業種)との連携による島での多様な働き方支援
- ・フリーランス広報サイトの仕事受注促進機能を強化
- ・フリーランス支援窓口の継続

- ・フリーランス体験者の情報発信
- ・移住支援（空家バンク、住宅支援）
- ・ハンドメイドマーケット(即売会)の開催



フリーランスが最も働きやすい島化計画（第2ステージ）～「モデルケースの普及」と「コミュニティ形成支援」～

○フリーランス支援事業の今後の展開

人材の育成・環境整備

- 「フリーランスが最も働きやすい島化計画」を策定
- 人材の育成（基礎・ノウハウ）
 - ・「フリーランス寺子屋」を年間開催
 - ・クラウド系企業との連携協定締結（ランサーズ、PIXTA、GMOペパボ）
 - ・オンライン人材教育（スクー協力）
- 環境整備
 - ・光ブロードバンド市内全域整備
 - ・コワーキング施設「コワーキングスペースかさり」開設

H27～R1

第1ステージ（奄美モデル構築期）

モデルケースの普及・コミュニティ形成支援

- 「フリーランスが最も働きやすい島化計画（第2ステージ）」の策定
- トップランナーのロールモデル化（成功事例の波及）
- WorkStyle Labの整備
 - ・多様な働き方に対応する施設整備
 - ・ICT人材育成センターの機能移設
 - ・コミュニティマネージャー配置
- ビジネス性の高度化・人材の高度化
 - ・モデルケースの普及
 - ・ビジネスマッチング支援
 - ・学びの場の創出
 - ・コミュニティ形成支援
 - ・フリーランス支援サイトを活用し仕事受注増加

R2～R6

第2ステージ（奄美モデル普及期）

自立

- ・WorkStyle Lab自走化
- ・フリーランスとしてビジネス展開

R7～

第3ステージ（奄美モデル定着期）

○目標値（5年後）

1. 新たなフリーランスの創出（5年間で25名創出）
2. 新たなフリーランスの移住支援（5年間で25名）
3. 子育てワーカー支援（子育てをしながら年収60万円以上のフリーランスを10名育成）
4. 仕事支援（年収300万円のフリーランスを4名育成）